

海洋調査技術学会

第32回研究成果発表会 プログラム

● 期 間 2020年11月5日（木）～11月6日（金）（オンライン開催）

● 参加費 会員：無料、 非会員：2,000円

● 参加方法 事前登録制：会員：メールマガジンで後日案内
非会員：ホームページにて後日案内

■ 主 催 海洋調査技術学会

■ 後 援 海上保安庁海洋情報部（調整中）

■ 協 賛 以下調整中

海中海底工学フォーラム ZERO、(NPO 法人) 海洋音響学会、(一社) 海洋調査協会、(一社) 可視化情報学会、(一社) 資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、(公社) 土木学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、(NPO 法人) 日本海洋工学会、(NPO 法人) 日本火山学会、(公社) 日本航海学会、(公社) 日本地震学会、(一社) 日本写真測量学会、(公社) 日本水産学会、日本水産工学会、(公社) 日本船舶海洋工学会、(一社) 日本リモートセンシング学会、(公社) 物理探査学会 (50音順)

第1日 11月5日(木)		
開会挨拶	会長 道田 豊	13:30~13:35
研究成果発表(1)	座長 千葉 元 (大島高等商船)	13:35~14:55
1.	港湾海象分野からの研究成果発表を振り返って ○永井 紀彦 (エコー)	
2.	深海用フロート用 CTD センサ計測値にみられる圧力依存性を持つ低塩バイアスの原因について ○小林 大洋 (海洋研究開発機構)	
3.	諸リアルタイム潮汐観測システムで見られた特異現象 ○小田巻 実 (元海洋情報部)	
4.	拓洋第五海山でのマイクロ波式波高計による波浪計測 ○捫垣 勝哉・米田 虎希・越智 裕也・岩下 遼 (深田サルベージ建設)	
休 憩		14:55~15:05
機器展示案内	司会 事務局	15:05~15:45
<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社鶴見精機 ・ 株式会社ソニック ・ マリメックス・ジャパン株式会社 ・ 日本海洋株式会社 		
研究成果発表(2)	座長 佐藤 幹夫 (産業技術総合研究所)	15:45~16:45
5.	様々な海中音速場が音線計算に与える影響 ○横田 裕輔 (東大生研)・石川 直史・渡邊 俊一・中村 優斗 (海洋情報部)	
6.	海上保安庁の海底地殻変動観測の新たな解析手法 ○石川 直史・渡邊 俊一 (海洋情報部)・横田 裕輔 (東大生研)・中村 優斗 (海洋情報部)	
7.	JAMSTEC 地殻構造探査データの公開と利用者動向 ○海宝 由佳・野 徹雄・仲西 理子 (JAMSTEC)・瀧澤 薫 (日本海洋事業)・三浦 誠・ 中村 恭之・藤江 剛・尾鼻 浩一郎・小平 秀一 (JAMSTEC)	

※ 注意 オンライン開催時の画面の録画、画像コピー等は禁止します

第2日 11月6日(金)		
研究成果発表(3)	座長 石川 直史(海洋情報部)	13:30~14:10
8. ここまでできる!フリーソフトで点群処理 ~CloudCompareの利活用(基本編)~	○森 裕之(アーク・ジオ・サポート)	
9. 水中音響カメラによるモザイク画像の作成	○下田 孝行(アーク・ジオ・サポート)	
休憩		14:10~14:20
招待講演	座長 春日 茂(川崎地質)	14:20~15:00
10. 測量船「平洋」の観測機器について	○中川 正則(海洋情報部)	
11. 無人探査機の技術開発の方向性	○永橋 賢司(海洋研究開発機構)	
研究成果発表(4)	座長 春日 茂(川崎地質)	15:00~16:00
12. 高性能なAUVを核としたAUVネットワークによる水中完結型の海洋調査手法	○松田 匠未(東大生研, 明大)・藤田 健一・濱松 祐矢・坂巻 隆・巻 俊宏(東大生研)	
13. ASV開発の現状	○米塚 昇司(アーク・ジオ・サポート)	
14. 電動ROV FALCONを用いた海底状況調査	○松原 修三・東海林 みふゆ・西村 貴博・丹治 圭(マリメックス・ジャパン)	
若手優秀発表賞 審査結果および授与式		16:00~16:05
閉会挨拶	副会長 永井 紀彦	16:05~16:10

※ 注意 オンライン開催時の画面の録画、画像コピー等は禁止します